

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 玉川学園

(2) 大学名

玉川大学

(3) 大学の位置

〒194-8610

東京都町田市玉川学園六丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オバラ ヨシアキ) 小原芳明 (平成6年4月)		
学長	(オバラ ヨシアキ) 小原芳明 (平成6年4月)		
学部長	(アイハラ タケシ) 相原威 (平成28年4月)		
学科主任	(ソウマ マサキ) 相馬正宜 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)
- ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 - ・様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 情報通信工学科 学士(工学)	工学関係	4年	60人	年次人 -	240人	

- (注)
- ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学 定員 超過率	備考
	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期		
A 入学定員	人 60 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.05 倍	
志願者数	301 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	286 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	161 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	63 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.05									

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について **外数** で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・[]内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入** してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考	
	春季 入学	その 他の 学期	春季 入学	その 他の 学期	春季 入学	その 他の 学期	春季 入学	その 他の 学期	春季 入学	その 他の 学期		
1年次	[-] (-) 63	[-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] (-) 63	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・[]内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数 に対する 退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	63人	0人	平成29年度	0人	0人	該当なし	0.0%
平成30年度 入学者							
平成31年度 入学者							
平成32年度 入学者							
合計	63人	0人					0.0%

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（％）を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 情報通信工学科>

(1) 授業科目表

※US科目...ユニバーシティ・スタンダード科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー101	1前	2			1	1					教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)	
	一年次セミナー102	1後	2			1	1						
	玉川の教育	1後	0.3			1	1		0				
	健康教育	1前	1										兼1
	音楽 I	1前	0.7										兼2
	音楽 II	1後	1										兼2
	全人教育論	2前・後		2									兼1
	二年次セミナー201	2前		2									兼1
	二年次セミナー202	2後		2									兼1
	三年次セミナー301	3前		2									兼1
	三年次セミナー302	3後		2									兼1
	ピアリーダー	2前・後		2									兼1
	小計 (12 科目)	—	—	7	12	0	1	1	0	0	0		兼7
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	文化人類学	1・2・3・4前・後		2								兼1	US科目 (全学共通科目) がキニヤム改編により科目追加 (29)
	民俗学入門	1・2・3・4後		2								兼1	
	美術史	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	美術理論	1・2・3・4前		2								兼1	
	ことばと文化	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	比較文化論	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	日本文学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	外国文学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	歴史 (世界)	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	歴史 (日本)	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	音楽史	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	音楽理論	1・2・3・4前		2								兼1	
	哲学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	倫理学	1・2・3・4後		2								兼1	
	ロジック	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	科学史	2・3・4後		2								兼1	
	宗教学	2・3・4前・後		2								兼1	
	世界の宗教と文化	1・2・3・4後		2								兼1	
	人間関係論	2・3・4前		2								兼1	
	演劇史	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	演劇理論	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	キリスト教学	2・3・4前		2								兼1	
	英語学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	日本語学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	日本学入門	1・2・3・4前		2								兼1	
	Japanology	3・4前		2								兼1	
	Japanese Pop Culture	3・4後		2								兼1	
Issues in Japanese Studies A	4前		2								兼1		
Issues in Japanese Studies B	4後		2								兼1		
人文科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1・2・3・4前・後		1								兼1		
人文科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1・2・3・4前・後		1								兼1		
名著講読 (人文科学)	2・3・4前・後		1								兼1		
Modern Japanese History	3・4後		2								兼1		
East Asian History	4前		2								兼1		
小計 (34 科目)	—	—	0	65	0	0	0	0	0	0	兼26	—	
				47							兼23		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	社会学科目群												
	会計学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	Academic Communication	2・3・4後		2								兼1 US科目(全学共通科目)がキョラム改編により科目追加(29)	
	経済学(国際経済を含む)	1・2・3・4前		2								兼1	
	国際関係論	2・3・4前・後		2								兼1	
	情報管理論	2・3・4前		2								兼1	
	法学	1・2・3・4後		2								兼1	
	市民社会と法	1・2・3・4後		2								兼1 US科目(全学共通科目)がキョラム改編により科目追加(29)	
	経営学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	マーケティング	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	政治学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	心理学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	社会学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	ボランティア概論	1・2・3・4後		2								兼1	
	科学技術社会論	2・3・4後		2								兼1	
	観光学入門	1・2・3・4前		2								兼1	
	社会科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	社会科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	名著講読(社会科学)	2・3・4前・後		1								兼1	
	19 小計(-17科目)		—	0	35	0	0	0	0	0	0	兼17 兼15	—
	自然科学科目群												
	情報科学入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	ネットワーク入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	データ処理	1・2・3・4前・後		2									兼1
	マルチメディア表現	1・2・3・4前・後		2									兼1
	化学入門	1・2・3・4前・後		2									兼2
	生物学入門	1・2・3・4前・後		2									兼2
	環境科学	1・2・3・4前・後		2									兼1
	数学入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	解析学入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	代数学入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	統計学入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	物理学入門	1・2・3・4前・後		2									兼1
	実践の物理学	2・3・4前		2									兼1 US科目(全学共通科目)がキョラム改編に伴い科目名及び配当年度変更(29)
物理学実践	2・3・4前・後												
科学入門	1・2・3・4前・後		2									兼5	
地球科学	2・3・4前・後		2									兼1	
エネルギー科学	2・3・4前		2			1							
宇宙科学	2・3・4前・後		2									兼1	
STEM入門(科学と社会)	1・2・3・4後		2									兼1 US科目(全学共通科目)がキョラム改編により科目追加(29)	
人工知能と社会	2・3・4後		2									兼1	
自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1・2・3・4前・後		1									兼1	
自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1・2・3・4前・後		1									兼1	
名著講読(自然科学)	2・3・4前・後		1									兼1	
22 小計(-20科目)		—	0	41	0	1	0	0	0	0	兼18 兼16	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目） 学際科目群	ミクロ脳科学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	マクロ脳科学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	健康スポーツ理論	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	生涯スポーツ演習	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	環境教育	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	スポーツ史	2・3・4後		2								兼1	
	オリンピック文化論	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	栄養学	3・4前		2								兼1	
	病理学	3・4前		2								兼1	
	マスメディアと社会	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	現代文化論	2・3・4前		2								兼1	
	プレゼンテーションスキル	1・2・3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニラム 改編により科目追加(29)
	Presentation Skills in English	2・3・4後		2								兼1	
	Japanese Studies Overseas A	3後・4前・後		2								兼1	
	Japanese Studies Overseas B	3後・4前・後		2								兼1	
	Japanese Studies Overseas C	3後・4前・後		2								兼1	
	複合領域研究 201～299	2・3・4前・後		2								兼3	
	野外教育	2・3・4前・後 2・3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニラム 改編に伴い配当年次変更(29)
	TAPファシリテーション I	1・2・3・4前・後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニラム 改編により科目追加(29)
	TAPファシリテーション II	1・2・3・4後		2								兼1	
	環境教育ワークショップ I	1・2・3・4後		2								兼1	
	環境教育ワークショップ II	2・3・4前		2								兼1	
	コーオプ・プログラム	2・3・4前・後		2								兼1	
	インターンシップA	1・2・3・4前・後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニラム 改編により科目追加(29)
	インターンシップB	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	インターンシップC	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	インターンシップD	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	教育インターンシップA	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	教育インターンシップB	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	教育インターンシップC	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	教育インターンシップD	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	キャリア・マネジメント	3・4前・後		2								兼1	
	国際研究A	1後・2・3・4前・後		2								兼1	
	国際研究B	1後・2・3・4前・後		2								兼1	
	国際研究C	1後・2・3・4前・後		2								兼1	
	国際研究D	1後・2・3・4前・後		3								兼1	
	国際研究E	1後・2・3・4前・後		4								兼1	
	国際研究F	1後・2・3・4前・後		5								兼1	
	フィールドワークA	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	フィールドワークB	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	フィールドワークC	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	地域創生プロジェクトA	1・2・3・4前・後		1								兼1	US科目(全学共通科目)がキニラム 改編により科目追加(29)
	地域創生プロジェクトB	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	地域創生プロジェクトC	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	地域創生プロジェクトD	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	地域創生プロジェクトE	1・2・3・4前・後		3								兼1	
	地域創生プロジェクトF	1・2・3・4前・後		3								兼1	
47 小計 (26 科目)		—	0	96 58	0	0	0	0	0	0	0	兼25 兼20	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	言語表現科目群											
	ELF 101	1・2前・後		4								兼2
	ELF 102	1・2前・後		4								兼2
	ELF 201	1・2前・後		4								兼2
	ELF 202	1後・2前・後		4								兼2
	ELF 301	2・3・4前・後		4								兼2
	ELF 302	2後・3・4前・後 2・3・4前・後		4								兼2 US科目(全学共通科目)がキョーム改編に伴い配当年次変更(29)
	ELF 401	3・4前・後		4								兼1
	ELF 402	3後・4前・後 3・4前・後		4								兼1 US科目(全学共通科目)がキョーム改編に伴い配当年次変更(29)
	日本語表現 101	1・2・3・4前		2								兼1
	日本語表現 102	1・2・3・4後		2								兼1
	フランス語 101	1・2・3・4前		2								兼1
	フランス語 102	1・2・3・4後		2								兼1
	ドイツ語 101	1・2・3・4前		2								兼1
	ドイツ語 102	1・2・3・4後		2								兼1
	スペイン語 101	1・2・3・4前		2								兼1
	スペイン語 102	1・2・3・4後		2								兼1
	中国語 101	1・2・3・4前		2								兼1
中国語 102	1・2・3・4後		2								兼1	
小計（18科目）		—	0	52	0	0	0	0	0	0	兼6 兼9	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ユニバーシティ・スタンダード科目群(全学共通科目)	学校経営と学校図書館	3・4前		2								兼1	
	学校図書館メディアの構成	2・3・4前		2								兼1	
	学習指導と学校図書館	3・4前		2								兼1	
	読書と豊かな人間性	2・3・4後		2								兼1	
	情報メディアの活用	2・3・4前・後		2								兼1	
	生涯学習概論	2・3・4前		2								兼1	
	図書館概論	2・3後 2・3前		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニョラム改編に伴い配当年次変更(29)
	図書館情報技術論	3・4後		2								兼1	
	図書館制度・経営論	3・4前		2								兼1	
	図書館サービス概論	2・3前 2・3後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニョラム改編に伴い配当年次変更(29)
	情報サービス論	2・3・4後		2								兼1	
	児童サービス論	3・4前 3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキニョラム改編に伴い配当年次変更(29)
	情報サービス演習A	3・4前		1								兼1	
	情報サービス演習B	3・4前		1								兼1	
	図書館情報資源概論	2・3後		2								兼1	
	情報資源組織論	2・3前		2								兼1	
	情報資源組織演習A	2・3・4後		1								兼1	
	情報資源組織演習B	2・3・4後		1								兼1	
	図書館情報資源特論	3・4前		1								兼1	
	図書・図書館史	2・3・4前		1								兼1	
	図書館施設論	3・4後		1								兼1	
	社会教育の基礎	2・3後		2								兼1	
	社会教育計画	2・3前		2								兼1	
	社会教育方法論	2・3後		2								兼1	
	社会教育実習	2後		2								兼1	
	社会教育課題研究	3前		2								兼1	
	現代社会と社会教育	2・3後		2								兼1	
	社会体育論	2・3前		2								兼1	
	博物館概論	2前		2								兼1	
	博物館経営論	2後		2								兼1	
	博物館資料論	2後		2								兼1	
	博物館資料保存論	2前		2								兼1	
	博物館展示論	2前		2								兼1	
	博物館教育論	2後		2								兼1	
	博物館情報・メディア論	2後		2								兼1	
	博物館実習	3前・後		3								兼1	
小計(36科目)		—	0	66	0	0	0	0	0	0	兼18	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
100 番台 科目	チャンピオンシップ	1前	1			7	1		1			
	工学基礎演習	1前		1		1						
	代数学 I	1後・2前	2								兼2	
	解析学 I	未開講 1前・後	2								兼2	履修希望者がいなかったため未開講(29)
	解析学 II	1後・2前		2							兼1 兼2	受講者数と開講クラスの減に伴う科目担当者の削除(29)
	数学演習 I	1前		2							兼1 兼2	
	数学演習 II	1後		2							兼1 兼2	
	物理学 I	1後・2前		2		1					兼2 兼1	教育体制の充実を図るため担当者追加(29)
	コミュニケーション科学の世界	1前	2			7	1		1			
	プログラミング I	1後・2前	2			1			1			
	情報システム入門	1後		2			1					
	電気回路入門	1後	2			2						
	ロボットプロジェクトA	1後		1		2						
	小計 (13 科目)	—	11	12	0	7	1	0	1	0	兼8 兼7	—
専 門 科 目 群	技術英語 I	2前		2		1						
	技術英語 II	2後		2		1						
	センサ工学	2前	2			2						
	確率統計学 I	2前		2		1						
	プログラミング II	2前		2		1	1					
	工学倫理	2後	1			1						
	熱と流れの力学	2後		2		1						
	インテリジェントデバイス入門	2後	2			1			1			
	情報工学実験	2後	1			1	1		1			
	基礎物理学実験	2前		2		1					兼2	
	通信システム	2後		2		1						
	フーリエ解析	2後		2		1						
	データサイエンス入門	2後		2		1						
	認知科学	2後		2		1						
	工業科指導法 I	2前		2							兼1	
	工業科指導法 II	2後		2							兼1	
	サイエンスイングリッシュ	2後	サイ	4		1						
	数学科指導法 I	2前		2							兼1 兼2	教職課程認定における指導に伴う科目担当者の削除(29)
	数学科指導法 II	2後		2							兼1 兼2	
	微分方程式 I	2前		2							兼1	
	複素解析 I	2後		2							兼2	
	確率統計学 II	2後		2							兼1	
微分方程式 II	2後		2							兼1		
電磁気学	2後		2		1							
幾何学 I	2後		2							兼1		
キャリアデザイン	2後		2				1					
インターフェース工学	2前		2		1							
ロボットプロジェクトB	2前		1		2							
小計 (28 科目)	—	6	49	0	7	1	0	1	0	兼8 兼0	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	コミュニケーションロボット工学	3前		2		1						
	ブレインサイエンス	3前		2		1						
	インテリジェントデバイス実験Ⅰ	3前	1			1	1		1			
	通信工学	3前		2		1						
	応用電子物性	3前		2		1						
	数値解析プログラミング	3前		2		1						
	データサイエンスⅠ	3前		2		1						
	エネルギー工学	3前		2		1						
	工学応用演習	3前		1		1						
	インターンシップⅠ	3後		1		1						
	インターンシップⅡ	3後		1		1						
	インターンシップⅢ	3後		1		1						
	ロボットプログラミング	3後		2		1						
	インテリジェントデバイス実験Ⅱ	3後		2		1	1		1			
	情報理論	3後		2		1						
	データサイエンスⅡ	3後		2		1						
	スマートエネルギー	3後		2		1						
	レーダ工学	3後		2		1						
	生体情報工学	3後		2		1						
	職業指導（工業）Ⅰ	3前		2							兼1	教職課程認定における指導に伴う科目名の変更(29)
	職業指導Ⅰ											
	職業指導（工業）Ⅱ	3後		2							兼1	
	職業指導Ⅱ											
	複素解析Ⅱ	3前		2							兼2	
	代数学Ⅱ	3前		2							兼1	
数学科指導法Ⅲ	3前		2							兼1 兼2	教職課程認定における指導に伴う科目担当者の削除(29)	
数学科指導法Ⅳ	3後		2							兼1 兼2		
小計（25科目）	—	1	44	0	7	1	0	1	0	兼4 兼5		—
400番台科目	人工知能	4前		4		3			1			
	インテリジェントデバイス実験Ⅲ	4前		2		1	1		1			
	卒業プロジェクト	4通	4			7	1		1			
	研究室セミナー	4前		2		7	1		1			
	量子セキュリティ	4後		2		1						
	ブレインソフトウェア	4後		2		1						
	ビッグデータ解析	4後		2		1						
	幾何学Ⅱ	4前		2							兼1	
	光通信工学	4前		4							兼1	
小計（9科目）	—	4	20	0	7	1	0	1	0	兼2	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教職関連科目群	日本国憲法	1前		2								兼1	
	体育	1・2後		1								兼1	
	教職概論	1後		2								兼3	
	教育原理	1前		2								兼3	
	学習・発達論	1後・2前		2								兼3	
	教育の制度と経営	1後・2前		2								兼3	
	教育課程編成論（中・高）	2・3後		2								兼3	
	道德教育の理論と方法（中）	3前・後		2								兼3	
	特別活動の理論と方法（中・高）	3前		2								兼2	
	教育の方法と技術（中・高）	1後・2前		2								兼3	
	生徒・進路指導の理論と方法（中・高）	2・3後		2								兼1	
	教育相談の理論と方法（中・高）	2前・後		2								兼2	
	教職実践演習（中・高）	4後		2								兼1	
	教育哲学	1・2後		2								兼1	
	教育史概論	1・2後		2								兼1	
	発達心理学	1・2・3後		2								兼1	
	特別支援教育	1・2・3後		2								兼1	
	教育心理学	1・2後		2								兼1	
	教育社会学	1・2後		2								兼1	
	教育行政学	1・2後		2								兼1	
	教育方法学（中・高）	1・2後		2								兼1	
	教育実習（中学校）	3後～4前		5		1						兼1	
	教育実習（高等学校）	3後～4前		3		1						兼1	
	コンピュータと学習支援（中・高）	2・3前・後		2								兼1	
	教職演習A	4前		1								兼1	
	教職演習B	4後		1								兼1	
	精神保健	2・3・4前・後		2								兼1	
	生命と性の教育	2・3・4前・後		2								兼1	
	異文化理解と教育	2・3・4前・後		2								兼1	
小計（29科目）		—	0	59	0	1	0	0	0	0	兼33	—	
292 合計（258科目）		—	29	517 487	0	7	1	0	1	0	兼174 兼120	—	

- (注) ・認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 240	科目 0	科目 258	科目 18 [±0]	科目 274 [±34]	科目 [±0]	科目 292 [±34]	

(注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし (29)					

(注) ・設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし (29)					

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし (29)

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{258} = \boxed{0.00}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	<共有する他の学校の名称・収容定員・校地面積基準> 玉川学園高等部 795人 13,020㎡ 玉川学園中学部 795人 10,696㎡ 玉川学園小学部1,200人 9,567㎡ 玉川学園幼稚部 190人 1,000㎡			
	校舎敷地	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡				
	運動場用地	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡				
	小計	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡				
	その他	0.00 ㎡	205,039.58 ㎡	0.00 ㎡	205,039.58 ㎡				
	合計	0.00 ㎡	609,171.57 ㎡	0.00 ㎡	609,171.57 ㎡				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 解体及び用途変更のため。機能は既存校舎に移転されており、修学環境に及ぼす影響は全くない。(29)			
		128,478.19 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	128,478.19 ㎡				
		(123,580.50 ㎡) (128,478.19 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(123,580.50 ㎡) (128,478.19 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 解体及び用途変更のため。機能は既存校舎に移転されており、修学環境に及ぼす影響は全くない。(29)			
	107 室 129 室	69 室 72 室	224 室 225 室	5 室 (補助職員 2 人)	7 室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数					
	工学部 情報通信工学科			9 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体 教育の充実のため、図書等を購入。 電子ジャーナルの算出方法を文部科学省による「学術情報基盤実態調査」に合わせたため数値は減少となっているが、学生への影響は全くない。(29)	
	工学部 情報通信工学科	961,999 [304,437] (937,725 [300,880]) (937,774[300,891])	8,875 [2,176] (8,696 [2,184]) (8,695[2,164])	39,008 [38,950] (11,048 [10,481]) (39,008[38,950])	32,121 (31,959) (32,121)	8,791 (9,463) (8,791)	7 (7)		
	計	961,999 [304,437] (937,725 [300,880]) (937,774[300,891])	8,875 [2,176] (8,696 [2,184]) (8,695[2,164])	39,008 [38,950] (11,048 [10,481]) (39,008[38,950])	32,121 (31,959) (32,121)	8,791 (9,463) (8,791)	7 (7)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
	9,022.42 ㎡	1,040 席		1,301,220 冊					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	4,226.96 ㎡	名称	所在地	設置年月	規模				
		屋内プール	東京都町田市玉川学園	昭和47年8月	2,766.30 ㎡				
		弓道場	六丁目	昭和41年9月	1,314.00 ㎡				
洋弓場		1番1号	昭和59年3月	2,053.00 ㎡					
	ゴルフ場		昭和38年7月	4,862.00 ㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書及び設備購入については、大学全体の予算内での調整のため当該学科の予算に増減が発生した。(29)
		教員1人当り研究費等	400 千円	400 千円	図書購入費	2,112 千円 1,627 千円	2,811 千円 1,200 千円	1,200 千円	
		共同研究費等	2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	4,627 千円 2,314 千円	9,914 千円 10,000 千円	10,000 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1886.2 千円	1646.2 千円	1656.2 千円	1666.2 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	玉川大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語教育学科	4	60	—	60	学士(文学)	1.20	平成29年度		
英語教育学科	4	80	—	240	学士(文学)	1.03	平成27年度		
人間学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成14年度		文学部人間学科は平成29年4月より学生募集停止
比較文化学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成18年度		文学部比較文化学科は平成27年4月より学生募集停止
農学部									
生産農学科	4	165	—	165	学士(農学)	1.00	平成29年度		
環境農学科	4	70	—	70	学士(農学)	0.72	平成29年度		
先端食農学科	4	70	—	70	学士(農学)	1.01	平成29年度		
生物資源学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	昭和24年度		農学部生物資源学科は平成27年4月より入学定員変更
生物環境システム学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成17年度	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	90→105 農学部生物環境システム学科は平成27年4月より入学定員変更 60→70
生命化学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成17年度		農学部生命化学科は平成27年4月より入学定員変更 100→110
工学部									
情報通信工学科	4	60	—	60	学士(農学)	1.05	平成29年度		
ソフトウェアサイエンス学科	4	60	—	250	学士(工学)	1.37	平成20年度		工学部ソフトウェアサイエンス学科は平成27年4月より入学定員変更 70→60
マネジメントサイエンス学科	4	60	—	250	学士(工学)	1.49	平成16年度		工学部マネジメントサイエンス学科は平成27年4月より入学定員変更 70→60
エンジニアリングデザイン学科	4	60	—	180	学士(工学)	0.85	平成27年度		
機械情報システム学科	4	—	—	220	学士(工学)	—	平成20年度		工学部機械情報システム学科は平成27年4月より入学定員変更 100→60

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営学部 国際経営学科	4	130	—	520	学士(経営学)	1.30	平成13年度		
教育学部 教育学科	4	240	—	960	学士(教育学)	1.20	平成14年度		
乳幼児発達学科	4	75	—	275	学士(教育学)	1.17	平成15年度		教育学部乳幼児発達学科は平成27年4月より入学定員変更 50→75
芸術学部 パフォーマンス・アーツ学科	4	130	—	520	学士(芸術学)	1.07	平成14年度		芸術学部パフォーマンス・アーツ学科は平成26年4月より入学定員変更 120→130
メディア・デザイン学科	4	90	—	360	学士(芸術学)	1.12	平成26年度	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	
芸術教育学科	4	50	—	200	学士(芸術学)	1.10	平成26年度		
音楽コース	4	30	—	120	学士(芸術学)	1.28			
美術・工芸コース	4	20	—	80	学士(芸術学)	0.82			
メディア・アーツ学科	4	—	—	—	学士(芸術学)	—	平成18年度		芸術学部メディア・アーツ学科は平成26年4月より学生募集停止
ビジュアル・アーツ学科	4	—	—	—	学士(芸術学)	—	平成14年度		芸術学部ビジュアル・アーツ学科は平成26年4月より学生募集停止
リハビリアーツ学部 リハビリアーツ学科	4	160	—	640	学士(リハビリアーツ)	1.14	平成19年度		
観光学部 観光学科	4	90	—	360	学士(観光学)	1.26	平成25年度		
教育学部 教育学科通信教育課程	4	1,500	—	6,000	学士(教育学)	0.04	平成14年度		

大学の名称	玉川大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学研究科									
人間学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(文学)	0.10	平成22年度		
英語教育専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(文学)	0.63	平成22年度		
農学研究科									
資源生物学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士(農学)	0.87	昭和52年度		
資源生物学専攻 (博士課程後期)	3	4	—	12	博士(農学)	0.25	昭和54年度		
工学研究科									
機械工学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.09	昭和42年度		
電子情報工学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.18	昭和42年度	東京都町田市玉川学園 六丁目1番1号	
システム科学専攻 (博士課程後期)	3	3	—	9	博士(工学)	0.11	平成19年度		
マネジメント研究科									
マネジメント専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(マネジメント)	0.35	平成17年度		
教育学研究科									
教育学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士(教育学)	1.40	平成18年度		
教職専攻 (専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士(専門職)	1.07	平成20年度		
脳科学研究科									
心の科学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(工学) 修士(学術)	0.60	平成26年度		
脳科学専攻 (博士課程後期)	3	3	—	9	博士(工学) 博士(学術)	0.25	平成26年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 工学部 情報通信工学科 >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	アハラ タツ 相原 威	平成29年4月	チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ プログラミングI プログラミングII 工学倫理 サイエンスイングリッシュ ブレインサイエンス データサイエンスI 生体情報工学 人工知能※ 卒業プロジェクト 研究室セミナー ブレインソフトウェア						
専	教授	オクボ ヒデトシ 大久保 英敏	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 エネルギー科学 チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ 技術英語I 技術英語II 熱と流れの力学 エネルギー工学 スマートエネルギー 卒業プロジェクト 研究室セミナー 教育実習 (中学校) 教育実習 (高等学校)	専	准教授	モリ マヒロ 森 文彦	平成29年4月	一年次セミナー101 [全学共通科目] 一年次セミナー102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	大森 隆司 オオモリ タカシ	平成29年4月	チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ ロボットプロジェクトA センサ工学 確率統計学I データサイエンス入門 インターフェース工学 ロボットプロジェクトB データサイエンスII 人工知能※ 卒業プロジェクト 研究室セミナー ビッグデータ解析						
専	教授	岡田 浩之 オカダ ヒロユキ	平成29年4月	チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ 電気回路入門 ロボットプロジェクトA インテリジェントデバイス入門 認知科学 ロボットプロジェクトB コミュニケーションロボット工学 ロボットプログラミング インテリジェントデバイス実験II 人工知能※ インテリジェントデバイス実験III 卒業プロジェクト 研究室セミナー						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	ソウマ マサキ 相馬 正宜	平成29年4月	チャンピオンシップ 工学基礎演習 コミュニケーション科学の世界※ 通信システム フーリエ解析 通信工学 数値解析プログラミング 工学応用演習 情報理論 卒業プロジェクト 研究室セミナー 量子セキュリティ						
専	教授	マサダ ゲンタ 政田 元太	平成29年4月	チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ 電気回路入門 センサ工学 情報工学実験 インテリジェントデバイス実験I インターンシップI インターンシップII インターンシップIII レーダ工学 卒業プロジェクト 研究室セミナー						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	ミヤ セイ 宮田 成紀	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 チャンピオンシップ 物理学I コミュニケーション科学の世界※ 基礎物理学実験 電磁気学 応用電子物性 卒業プロジェクト 研究室セミナー					玉川の教育 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)
専	准教授	モリ フミコ 森 文彦	平成29年4月	チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ 情報システム入門 プログラミングII 情報工学実験 キャリアデザイン インテリジェントデバイス実験I インテリジェントデバイス実験II インテリジェントデバイス実験III 卒業プロジェクト 研究室セミナー					一年次セミナー101 [全学共通科目] 一年次セミナー102 [全学共通科目] 玉川の教育 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	ハヤカ ヒロミ 早川 博章	平成29年4月	玉川の教育 チャンピオンシップ コミュニケーション科学の世界※ プログラミングI インテリジェントデバイス入門 情報工学実験 インテリジェントデバイス実験I インテリジェントデバイス実験II 人工知能※ インテリジェントデバイス実験III 卒業プロジェクト 研究室セミナー	専	教授	ミタ セイ 宮田 成紀	平成29年4月	玉川の教育 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)
兼担	教授	アキ アツオ 青木 敦男	平成29年4月	ことばと文化						
兼担	教授	アミノ コウイチ 網野 公一	平成29年4月	比較文化論	兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	比較文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更 (29)
兼担	教授	アンドウ マサキ 安藤 正紀	平成29年4月	特別支援教育						
兼担	教授	イムラ ヨシカズ 磯村 宜和	平成29年4月	マイクロ脳科学						
兼担	教授	エリカチ カントウ 江里口 歡人	平成29年4月	教育の制度と経営	兼担	准教授	エトリ サカムネ 湯藤 定宗	平成29年4月	教育の制度と経営	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	オキ エイチ 大木 栄一	平成31年4月	キャリア・マネジメント	兼担	教授	オキ エイチ 大木 栄一	平成29年4月	インターンシップA 〔全学共通科目〕 インターンシップB 〔全学共通科目〕 インターンシップC 〔全学共通科目〕 インターンシップD 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目(全学共通科目)が キャム改編により科目追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	オガラ ヤスキ 小倉 康之	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼担	教授	オサノ ケイ 小佐野 圭	平成29年4月	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ						
兼担	教授	カギザキ ヒロカ 柿崎 博孝	平成30年4月	博物館経営論						
兼担	教授	カトリ ケンタロウ 加藤 研太郎	平成32年4月	光通信工学						
兼担	教授	カワサキ トシキ 川崎 登志喜	平成30年4月	社会体育論						
兼担	教授	カモリ シゲヒロ 川森 重弘	平成29年4月	科学入門※						
兼担	教授	カニカ ヨシノブ 日下 芳朗	平成29年4月	代数学Ⅰ 解析学Ⅰ 解析学Ⅱ	兼担	教授	カハラ アキヒロ 菅原 昭博	平成29年4月	解析学Ⅱ	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
兼担	教授	クロダ ケン 黒田 潔	平成29年4月	物理学入門 物理学実践 科学入門※ 物理学Ⅰ 基礎物理学実験					物理学実践 実践の物理学 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目(全学共通科目)が キョウガ改編に伴い科目名変更 (29)
兼担	教授	コタベ シンイチ 小田部 進一	平成30年4月	キリスト教学	兼担	教授	コタベ シンイチ 小田部 進一	平成29年4月	世界の宗教と文化 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目(全学共通科目)が キョウガ改編により科目追加
兼担	教授	コバヤシ マコト 小林 亮	平成29年4月	学習・発達論	兼任	講師	キウチ アキ 木内 亜紀	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	コバヤシ ユキオ 小林 幸夫	平成29年4月	政治学 日本国憲法						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	コトノリ ヨウコ 近藤 洋子	平成30年4月	生命と性の教育						
兼担	教授	サカノ シンジ 坂野 慎二	平成29年4月	教育の制度と経営 教育課程編成論（中・高） 教育行政学						
兼担	教授	サクマ ヒロユキ 佐久間 裕之	平成29年4月	全人教育論 教職概論 教育原理 道徳教育の理論と方法（中） 教育哲学	兼任	講師	タカハシ ノブム 高橋 望	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	教授	サトウ ケンジ 佐藤 健治	平成30年4月	複素解析Ⅰ 幾何学Ⅰ 複素解析Ⅱ 代数学Ⅱ 幾何学Ⅱ						
兼担	教授	スズキ ヤスユキ 鈴木 康之	平成30年4月	コーオプ・プログラム						
兼担	教授	ソヤマ タケシ 曾山 毅	平成29年4月	観光学入門						
兼担	教授	タカス ハジメ 高須 一	平成29年4月	音楽理論	兼担	教授	ノモト ユキオ 野本 由紀夫	平成29年4月	音楽理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 高須一兼担教授の退職（平 成28年5月急逝のため）に伴 い変更（29）
兼担	教授	タカヒラ サユリ 高平 小百合	平成29年4月	発達心理学 教育心理学						
兼担	教授	タニ カズキ 谷 和樹	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）						
兼担	教授	タハラ シュンジ 田原 俊司	平成30年4月	教育相談の理論と方法（中・高）						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	トシカ ジュンイチ 富永 順一	平成29年4月	自然科学7科目ミックス（リレーイング） 自然科学7科目ミックス（ライティング） 情報メディアの活用 コンピュータと学習支援（中・高）						
兼担	教授	トヨダ マサシ 豊田 昌史	平成30年4月	微分方程式Ⅰ 微分方程式Ⅱ 教職実践演習（中・高）						
兼担	教授	ナカニ シゲル 中西 茂	平成29年4月	マスメディアと社会						
兼担	教授	ナカムラ カオリ 中村 香	平成29年4月	ボランティア概論 生涯学習概論 社会教育実習 社会教育課題研究						
兼担	教授	ナカヤマ ツヨシ 中山 剛史	平成29年4月	哲学						
兼担	教授	ニリノ ヒロエ 庭野 裕恵 (庭野 裕恵)	平成31年4月	病理学						
兼担	教授	ネギミ アキラ 根上 明	平成29年4月	ピアリーダー 環境教育ワークショップⅠ 環境教育ワークショップⅡ						
兼担	教授	ノモト ユキオ 野本 由紀夫	平成29年4月	音楽史					音楽理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 高須一兼担教授の退職（平成28年5月急逝のため）に伴い変更（29）
兼担	教授	ハシモト ジュンイチ 橋本 順一	平成30年4月	情報管理論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	ハシ 卓行 林 卓行	平成29年4月	美術理論 現代文化論	兼任	講師	ハシ 卓行 林 卓行	平成29年4月		平成29年4月 林卓行兼担教授の退職（平成29年3月自己都合のため）に伴い変更（29） 平成29年4月 林卓行兼担教授の退職（平成29年3月自己都合のため）に伴い変更（29）
					兼担	准教授	アリゲンタン 有源 傑ラード	平成29年4月	現代文化論 〔全学共通科目〕	
兼担	教授	ハラダ マリ 原田 眞理	平成30年4月	教育相談の理論と方法（中・高） 精神保健						
兼担	教授	マツタ テツヤ 松田 哲也	平成29年4月	マクロ脳科学						
兼担	教授	マツモト ヒロフミ 松本 博文	平成29年4月	国際研究A 国際研究B 国際研究C 国際研究D 国際研究E 国際研究F						
兼担	教授	モリヤ 誠司 守屋 誠司	平成29年4月	数学科指導法Ⅰ 数学科指導法Ⅱ 数学科指導法Ⅲ 数学科指導法Ⅳ 教育の方法と技術（中・高）	兼任	講師	サイノウ モエキ 齊藤 萌木	平成29年4月	数学科指導法Ⅰ 数学科指導法Ⅱ 教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更（29） 平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更（29）
兼担	教授	モリヤマ ケンイチ 森山 賢一 (都築 賢一)	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	兼任	講師	タカハシ ミエコ 高橋 美恵子	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の変更（29）
兼担	教授	ヤギハシ ノブヒロ 八木橋 伸浩	平成29年4月	歴史（日本） 博物館資料論						
兼担	教授	ヤマグチ イトモ 山口 意友	平成29年4月	教育原理 道徳教育の理論と方法（中）						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	ヤマグチ ケイスケ 山口 圭介	平成29年4月	教職概論 道徳教育の理論と方法（中）						
兼担	教授	ヤマグチ シュウジ 山口 修二	平成30年4月	科学技術社会論						
兼担	教授	ワタナベ マサヒコ 渡邊 正彦	平成29年4月	日本文学 日本語表現 102	兼任	講師	コノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 102 〔金学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更（29）
兼担	准教授	イカリ ナオ 市川 直子	平成29年4月	科学入門※						
兼担	准教授	イトウ リョウジ 伊藤 良二	平成29年4月	会計学						
兼担	准教授	ウノ ケイ 宇野 慶	平成30年4月	博物館情報・メディア論						
兼担	准教授	オhtani チェ 大谷 千恵	平成30年4月	異文化理解と教育						
兼担	准教授	オハラ カズヒト 小原 一仁	平成29年4月	教職概論	兼任	講師	イシイ キヨミ 石井 清文	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 （29）
兼担	准教授	カツオ アキヒト 勝尾 彰仁	平成29年4月	生物学入門 名著講読（自然科学）						
兼担	准教授	カワモト カズタカ 川本 和孝	平成30年4月	現代社会と社会教育 特別活動の理論と方法（中・高）						
兼担	准教授	カンノ カズオ 菅野 和郎	平成30年4月	博物館資料保存論						
兼担	准教授	クドウ ワタル 工藤 亘	平成29年4月	健康教育 生涯スポーツ演習					体育	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 （29）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	コシマ サエコ 小島 佐恵子 (宮崎 佐恵子)	平成29年4月	二年次セミナー201 三年次セミナー302 社会科学7科目ミックス(リディング) 社会科学7科目ミックス(ライティング) 教育社会学	兼任	講師	ヤチ コエ 矢内 琴江	平成29年4月	社会科学7科目ミックス(リディング) [全学共通科目] 社会科学7科目ミックス(ライティング) [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更(29) 平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	オオタ ヒロキ 太田 拓紀	平成29年4月	教育社会学	
兼担	准教授	ゴッタルド、マルコ	平成30年4月	宗教学						
兼担	准教授	コヤマ ユウイチロウ 小山 雄一郎	平成29年4月	フィールドワークA フィールドワークB フィールドワークC						
兼担	准教授	サウ カズオ 佐藤 一臣	平成29年4月	化学入門 科学入門※						
兼担	准教授	サウ ユキ 佐藤 由紀 (小島 由紀)	平成29年4月	コミュニケーション論 心理学						
兼担	准教授	タカハシ アイ 高橋 愛 (立花 愛)	平成30年4月	博物館教育論						
兼担	准教授	ハバ シンジ 馬場 眞二	平成29年4月	音楽I 音楽II						
兼担	准教授	ハラ ケンイチ 原野 健一	平成29年4月	生物学入門	兼任	准教授	ハラ ケンイチ 原野 健一	平成29年4月		平成29年4月 原野健一(准教授)が教授 に昇格(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	マツヤマ イリオ 松山 巖 (安藤 巖)	平成30年4月	学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 図書館概論 図書館制度・経営論 情報サービス演習B 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B						
兼担	准教授	ミキ ヒデオ 三木 秀夫	平成29年4月	代数学 I						
兼担	准教授	ミスノ カトシ 水野 貴敏	平成29年4月	科学入門※ 基礎物理学実験					物理学 I	平成29年4月 教育体制の充実を図るため 担当者追加 (29)
兼担	准教授	ムラヤマ 村山 にな	平成29年4月	美術史 博物館概論 博物館実習						
兼担	准教授	ヤマダ マサトシ 山田 雅俊	平成29年4月	経営学						
兼担	准教授	ユトウ サカムネ 湯藤 定宗	平成30年4月	教育課程編成論(中・高)	兼担	准教授	ユトウ サカムネ 湯藤 定宗	平成29年4月	教育の制度と経営	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	助教	ウオサキ ユウコ 魚崎 祐子 (福田 祐子)	平成29年4月	学習・発達論	兼担	助教	ウオサキ ユウコ 魚崎 祐子 (福田 祐子)	平成29年4月		平成29年4月 魚崎祐子(助教)が准教授 に昇格(29)
兼担	助教	スー, ジェシー	平成29年4月	ELF 101 ELF 102 ELF 201 ELF 202	兼担	助教	ユウジノヨシノリ ユリ 祐兼坊 由利 ジョディ (祐兼坊 由利)	平成29年4月	ELF 101 [全学共通科目] ELF 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラ スを改編したことに伴う担 当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	助教	スギキ ジュンヤ 鈴木 淳也	平成29年4月	健康スポーツ理論 体育	兼担	准教授	イトウ ワタル 工藤 亘	平成29年4月	体育	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	助教	スギキ ミホ 鈴木 美穂 (増田 美穂)	平成30年4月	名著講読 (人文科学)						
兼担	助教	タバタ シノブ 田畑 忍	平成29年4月	教育原理 教育方法学 (中・高)	兼担	准教授	タバタ シノブ 田畑 忍	平成29年4月	教育原理	平成29年4月 田畑忍(助教)が准教授に昇 格(29) 平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼担	助教	チャイクル, ラサミ	平成29年4月	ELF 101 ELF 102 ELF 201 ELF 202 ELF 301 ELF 302						
兼担	助教	ホアシ テツヤ 帆足 哲哉	平成30年4月	二年次セミナー202 三年次セミナー301 名著講読 (社会科学)						
兼担	助教	ムライ シンジ 村井 伸二	平成30年4月	野外教育 社会教育の基礎 特別活動の理論と方法 (中・高)	兼担	助教	ムライ シンジ 村井 伸二	平成29年4月		平成29年4月 村井伸二(助教)が准教授 に昇格(29)
兼担	助教	ユウジ ヨシホリ ヌリ 祐乗坊 由利 ジョアディー (祐乗坊 由利)	平成30年4月	ELF 301 ELF 302 ELF 401 ELF 402	兼担	助教	ユウジ ヨシホリ ヌリ 祐乗坊 由利 ジョアディー (祐乗坊 由利)	平成29年4月	ELF 101 〔全学共通科目〕 ELF 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラ スを改編したことに伴う担 当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	アミヤ マサト 雨宮 将人	平成29年4月	解析学 I 数学演習 I 数学演習 II 確率統計学 II	兼任	教授	スガワラ アキヒロ 菅原 昭博	平成29年4月	数学演習 I	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)
兼任	講師	アリカ アツシ 有川 淳	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼任	講師	アヤマ ユミコ 有山 裕美子	平成30年4月	図書館サービス概論						
兼任	講師	イケダ ユミ 池田 佑美	平成29年4月	化学入門 環境科学						
兼任	講師	イシデ ヤスオ 石出 靖雄	平成29年4月	日本語学 日本語表現 101	兼任	講師	コノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 101 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更 (29)
兼任	講師	イトウ ヨシオ 伊藤 恵夫	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼任	講師	エシタ カズキ 江下 和章	平成29年4月	代数学入門 数学演習 I 複素解析 II					数学演習 I	平成29年4月 受講者数と開講クラスの減に伴う科目担当者の削除 (29)
兼任	講師	エトウ ケイ 江藤 圭也	平成29年4月	経済学 (国際経済を含む)						
兼任	講師	オカリ タカ 大川 孝子	平成31年4月	学校経営と学校図書館						
兼任	講師	オカシ カズヒコ 大串 一彦	平成30年4月	数学科指導法 I 数学科指導法 II 数学科指導法 III 数学科指導法 IV 教育実習 (中学校) 教育実習 (高等学校)					数学科指導法 III 数学科指導法 IV	平成29年4月 教職課程認定における指導に伴う科目担当者の削除 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	オホサキ コウジ 大崎 恒次	平成29年4月	マーケティング						
兼任	講師	オクノ タケシ 奥野 武志	平成29年4月	教育史概論						
兼任	講師	カツマタ ノブユキ 勝又 暢之	平成29年4月	環境教育						
兼任	講師	ガリード、カルロス ガリード、カルロス	平成29年4月	スペイン語 101 スペイン語 102	兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	スペイン語 101 [全学共通科目] スペイン語 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
兼任	講師	カワサキ トシハル 川崎 敏治	平成29年4月	統計学入門 複素解析 I						
兼任	講師	キシダ シン 岸田 真	平成29年4月	演劇史 演劇理論	兼任	助教	タワタ シンタロウ 多和田 真太良	平成29年4月	演劇理論 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
兼任	講師	ゴウ チュウミツ 呉 仲密	平成29年4月	中国語 101 中国語 102						
兼任	講師	コスマ アキオ 小沼 明生	平成29年4月	歴史 (世界)						
兼任	講師	コバヤシ ハルコ 小林 晴子	平成29年4月	英語学						
兼任	講師	コバヤシ マサユキ 小林 正幸	平成29年4月	社会学						
兼任	講師	サイトリ ハルコ 齊藤 晴子	平成30年4月	博物館展示論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	サイトウ ヤスリ 齋藤 泰則	平成30年4月	学校図書館メディアの構成 児童サービス論 情報サービス演習A 図書・図書館史						
兼任	講師	サカモト ヨコ 阪本 陽子	平成30年4月	社会教育計画 社会教育方法論						
兼任	講師	シズヅ ヲウ 清水 聡	平成30年4月	国際関係論						
兼任	講師	イヅミ ヒデアキ 泉水 英計	平成29年4月	文化人類学						
兼任	講師	タカタ カル 高田 薫	平成29年4月	学習・発達論	兼任	講師	ハラダ エリコ 原田 恵理子	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
兼任	講師	タテヤマ ヨシノブ 立脇 洋介	平成30年4月	人間関係論						
兼任	講師	ツツイ ハルカ 筒井 晴香	平成29年4月	ロジック						
兼任	講師	トミタ コウスケ 富田 幸祐	平成30年4月	スポーツ史						
兼任	講師	トヨダ ヨシノブ 豊田 善敬	平成30年4月	工業科指導法Ⅰ 工業科指導法Ⅱ						
兼任	講師	ナカガワ ヤスオ 成川 康男	平成29年4月	解析学Ⅱ					解析学Ⅱ	平成29年4月 受講者数と開講クラスの減 に伴う科目担当者の削除 (29)
兼任	講師	ハギ ユミコ 萩 裕美子	平成31年4月	栄養学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ハマダ ヒデアキ 濱田 英毅	平成29年4月	人文科学7科目ミックス（リテリング） 人文科学7科目ミックス（ライティング）						
兼任	講師	ヒナタ ヨシカズ 日向 良和	平成30年4月	図書館情報技術論 情報サービス論 図書館情報資源特論 図書館施設論						
兼任	講師	ヒラキ ヤスカ 平木 康隆	平成30年4月	地球科学 宇宙科学						
兼任	講師	フシダ トモコ 藤田 智子	平成29年4月	マルチメディア表現	兼任	講師	タノ タシ 立野 貴之	平成29年4月	マルチメディア表現 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更（29）
兼任	講師	マシモト ナオミ 舩本 直文	平成29年4月	オリンピック文化論						
兼任	講師	マツオ トモアキ 松尾 知明	平成30年4月	教育課程編成論（中・高）						
兼任	講師	マツナガ ミツオ 松永 光雄	平成29年4月	法学						
兼任	講師	ミヤザワ ヨシタカ 宮澤 義臣	平成29年4月	ドイツ語 101 ドイツ語 102						
兼任	講師	ミヤカ ナギミ 宮永 望	平成29年4月	数学入門 解析学入門 数学演習 I 数学演習 II					数学演習 I 数学演習 II	平成29年4月 受講者数と開講クラスの減 に伴う科目担当者の削除 (29)
兼任	講師	ミヨウカ ミチコ 茗荷 美知子	平成29年4月	情報科学入門 データ処理						
兼任	講師	メグロ 目黒 ゆりえ (花川 ゆりえ)	平成29年4月	外国文学 フランス語 101 フランス語 102						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ヤマグチ 山口 アンナ	平成29年4月	ネットワーク入門						
兼任	講師	ヤマシナ ナホ 山科 直子	平成30年4月	科学史						
兼任	講師	ヤマダ トモコ 山田 朋子	平成29年4月	教育の制度と経営						
兼任	講師	ヤマダ トモユキ 山田 智之	平成30年4月	職業指導 I 職業指導 II 生徒・進路指導の理論と方法（中・高）					職業指導 I 職業指導（工業） I 職業指導 II 職業指導（工業） II	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目名の変更（29）
兼任	講師	ヨシダ カズオ 吉田 和夫	平成32年4月	教職演習A 教職演習B						
兼任	講師	ヨシタ ミツ 吉武 光雄	平成29年4月	倫理学						
					兼任	教授	イシイ キョウコ 石井 恭子	平成29年4月	教育インターンシップA 〔全学共通科目〕 教育インターンシップB 〔全学共通科目〕 教育インターンシップC 〔全学共通科目〕 教育インターンシップD 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） カリキュラム改編により科目 追加（29）
					兼任	教授	オカモト コウイチロウ 岡本 裕一朗	平成29年4月	人工知能と社会 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） カリキュラム改編により科目追加
					兼任	教授	テルヤ 照屋 さゆり (青木 さゆり)	平成29年4月	STEM入門（科学と社会） 〔全学共通科目〕 プレゼンテーションスキル 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目） カリキュラム改編により科目 追加（29）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼任	教授	スガワラ アキヒロ 菅原 昭博	平成29年4月	解析学Ⅱ 数学演習Ⅰ	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)
					兼任	教授	ナカイ エツコ 永井 悦子	平成29年4月	Japanese Studies Overseas A 〔全学共通科目〕 Japanese Studies Overseas B 〔全学共通科目〕 Japanese Studies Overseas C 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトA 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトB 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトC 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトD 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトE 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトF 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼任	教授	ナンバ カツミ 難波 克己	平成29年4月	TAPファシリテーションⅠ 〔全学共通科目〕 TAPファシリテーションⅡ 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼任	准教授	アリゲンタン 有源 傑	平成29年4月	現代文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 林卓行兼任教授の退職 (平成29年3月自己都合のため)に伴い変更 (29)
					兼任	准教授	タナカ モトコ 田中 素子	平成29年4月	日本学入門 〔全学共通科目〕 Japanology 〔全学共通科目〕 Japanese Pop Culture 〔全学共通科目〕 Modern Japanese History 〔全学共通科目〕 East Asian History 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼任	准教授	ミヤザキ マユ 宮崎 真由	平成29年4月	市民社会と法 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目)カリキュラム改編により科目追加
					兼任	准教授	リア, スティーブ	平成30年4月	Issues in Japanese Studies A 〔全学共通科目〕 Issues in Japanese Studies B 〔全学共通科目〕 Academic Communication 〔全学共通科目〕 Presentation Skills in English 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) カリキュラム改編により科目追加 (29)
					兼任	助教	タナカ シンタロウ 多和田 真太良	平成29年4月	演劇理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	アヲ カズヨシ 荒 一能	平成29年4月	民俗学入門 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目（全学共通科目）が システム改編により科目追加 (29)
					兼任	講師	イシ キヨフミ 石井 清文	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	オタ ヒロキ 太田 拓紀	平成29年4月	教育社会学	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	キウチ アキ 木内 亜紀	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	コノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 101 〔全学共通科目〕 日本語表現 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
					兼任	講師	サイトリ モエキ 齊藤 萌木	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	タカハシ ノゾム 高橋 望	平成29年4月	教職概論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	タカハシ ミエコ 高橋 美恵子	平成29年4月	教育の方法と技術（中・高）	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	タコ タケシ 田子 健	平成29年4月	教育原理	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	タチノ タカシ 立野 貴之	平成29年4月	マルチメディア表現 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)
					兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	比較文化論 〔全学共通科目〕 スペイン語 101 〔全学共通科目〕 スペイン語 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	ハラダ エリコ 原田 恵理子	平成29年4月	学習・発達論	平成29年4月 教職課程認定における指導 に伴う科目担当者の変更 (29)
					兼任	講師	ヤウチ コトエ 矢内 琴江	平成29年4月	社会科学7科目「ミックスドズ」(9-17「インク」) 〔全学共通科目〕 社会科学7科目「ミックスドズ」(9-17「インク」) 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため 担当者変更 (29)

- (注) ・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
7	1	0	1	9	7	1	0	1	9	7	1	0	1	9
(7)	(1)	(0)	(1)	(9)						[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（A））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （B））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし(29)				

合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし(29)				

合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当事項なし

(注) ・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
該当なし				

- (注)
- ・「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される 全ての報告書に記入してください。
 - ・該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 情報通信工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室〇室 (〇㎡)</p> <p>b 自習室〇室 (〇㎡)</p> <p>c 図書〇〇冊</p> <p>該当なし</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対照表」参照)</p> <p>② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。</p>

- (注) ・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p><玉川大学FD委員会規程を転載></p> <p>(目的)</p> <p>第1条 玉川大学(以下「本大学」という。)教員の、教育研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という。)委員会(以下「本委員会」という。)を置く。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 本委員会は、委員長、委員、事務担当をもって構成する。</p> <p>2 前項の委員長は学部長とする。</p> <p>3 委員長及び委員等は、毎年度当初、学長がこれを委嘱する。</p> <p>4 委員長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。</p> <p>5 本委員会には学部ごとの部会を設けることができる。</p> <p>6 前項による部会は、各学部ごとに設け、部会のまとめ役及び委員は学部長が選任する。</p> <p>(任期)</p> <p>第3条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(運営)</p> <p>第4条 本委員会は、委員長が召集・開会し、議長となる。</p> <p>2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第5条 本委員会は、次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項</p> <p>(5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行</p> <p>(6) 部会からの報告・審議に関する事項</p> <p>(7) その他FDに関連する事項</p>

(部会)

第6条 各部会は、本委員会に検討・実施事項を報告しなければならない。

(答申)

第7条 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。

(実施事項の決定)

第8条 前条の答申内容の実施については、大学部長会の議を経て学長が決定する。

(実施事項の運用)

第9条 前条により決定した実施事項に関する実際の運用に関しては、教務委員会及び教育研究活動等点検調査委員会との調整を図りながら検討、実施するものとする。

(事務主管)

第10条 本委員会に係る事務主管は、教学部教育学修支援課とする。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学FD委員会は年間5回開催した。平成28年度は、4月、6月、9月、11月、3月にそれぞれ開催し、委員長1名、委員11名、事務担当5名が参加し審議した。委員会開催の他、授業改善のための学生による授業評価アンケート（ユニバーシティ・スタンダード科目）、ピア・レビュー（全教職員を対象にした授業参観）、第三者によるシラバス確認、FD研修（新任教員研修会、ティーチング・ポートフォリオ導入に向けた研修会、アクティブ・ラーニングに関する研修会、ルーブリック指標による評価に関する研修会、非常勤教員を対象とした研修）の開催、外部のFD研修への教職員派遣、FDerの養成、FD活動報告書作成・公表などの多岐にわたる活動を大学全体で積極的に推進した。

c 委員会の審議事項等

大学FD委員会においては以下の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
- (5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (6) 部会からの報告・審議に関する事項
- (7) その他FDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

平成29年度開設のため、情報通信工学科では工学部のFD活動と同様に下記の内容を実施する予定である。

- (1) FD研修会
- (2) 学生による授業評価アンケート
- (3) 教員による授業評価検討会
- (4) 教員相互の授業参観
- (5) ティーチング・ポートフォリオ（TP）ワークショップ参加

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

現時点で、情報通信工学科としての実績はまだないが、工学部として平成28年度に下記の通り、研修会等を実施した実績がある。

- (1) FD研修会
年間2回開催している。共通テーマとして「GPA・単位取得率による成績動向の把握による教員の指導方針共有」を掲げ、工学部の全専任教員39名が参加して実施した。
- (2) 学生による授業評価アンケート
学科の全開講科目（春学期7月・秋学期2月）についてマーク式、記述式でアンケートを実施した。参加教員数は2回実施で延べ119名だった。
- (3) 教員による授業評価検討会
授業評価アンケートと教員が授業ごとに作成している授業実施チェックシートをもとに、年2回（春学期9月、秋学期3月）各学科で実施した。
- (4) 春学期・秋学期に工学部4学科より1名ずつの教員が参観授業を実施した。在籍学科にこだわらず、他学科の科目も可とし、工学部全専任教員が参観した。参観にあたっては参加教員が「工学部教員授業参観者チェックシート」を記載。さらにその評価を受けて授業実施者は「研究授業（科目担当者表）」を記載し、授業の振り返りおよび今後の授業運営への参考とした。
- (5) ティーチング・ポートフォリオ（TP）を作成し、授業改善における自己省察を行うことを目的とし、学内で開催

されたワークショップへ参加した。
情報通信工学科としても平成29年度は、同様の内容でFD活動を実施する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

工学部では授業評価アンケートと教員が授業ごとに作成している授業実施チェックシートをもとに授業評価検討会を実施し、その結果を受けて教務担当が総合的に検討を行い、授業改善実施施策を各学科にフィードバックしている。これを各学科では改善の実施に利用している。加えて年2回のFD研修会で各学科の内容を共有し、学部全体の方向性を明確なものとして授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等

情報通信工学科では学科の全開講科目について、春学期は7月に秋学期は2月にマーク式、記述式でアンケートを実施する予定である。その結果に教員の作成した授業実施チェックシートを加味し、分析することで授業改善に取り組む予定である。この結果をFD研修で学部の全教員に「学生による授業評価」報告書として配布するとともに、校舎内での閲覧公開、外部向けにHP上での公開を計画している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部情報通信工学科では、人と人をつなぐコミュニケーション能力と技術を身に付け、正しい倫理観を持ち、現代のグローバルな情報化社会で活躍できる人材の養成を目指した教育を、設置計画通り、平成29年4月より実施している。

この人材養成の目的を達成するために、情報・通信技術者としての幅広い素養と倫理、グローバルな社会で活躍できる技術者として英語力と数理能力、コミュニケーション力、問題発見・解決能力を身に付けられるように教育課程を編成し、設置計画通り、授業科目を開設している。

また、設置計画の通り、各学期に履修登録できる単位数の上限を原則16単位と定め、単位制度の実質化を図っている。特に時間割において、授業と授業との間に空き時間を設定し予習・復習の時間を確保できるように工夫している。

このように、設置計画通りに平成29年4月より教育活動を展開している。

実際の取組の達成状況は以下の通りである。

1. 教育課程

・教育課程の編成の基本方針・考え方に基づいて、設置計画の通り、授業科目を開設した。ただし、全学共通のユニバーシティ・スタンダード科目群においては、教育の充実を図ることから開設科目の追加、名称変更、配当年次変更を行った。

2. 教員組織

・教員組織の編成の考え方に基づいて、設置計画の通り、専任教員を配置した。

3. 教育方法および履修指導

・英語運用能力向上のための授業の展開、主体的な学生の学びと、充実した授業展開を目指した履修科目登録上限の16単位設定、学習の質を評価するGPA制度の導入、履修ガイダンスの開催など、設置計画通りに実施している。

4. 施設・設備

・教育・研究活動に必要な施設・設備は、設置計画通りに整備した。なお、学生の主体的な学びを促進させるための施設「大学教育棟 2014」は、図書館、講義室、研究室、大学事務室をはじめとする学修支援の機能を集約した複合施設で、ラーニング・コモンズにより学生が主体的に学修できる空間を多く配置している。また隣接して食堂棟を設置している。さらに、国際共通語としての英語の学修をより充実させるための施設「ELF Study Hall 2015」は、少人数クラスやグループ学修に適した教室、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニング・ゾーン、セルフ・ラーニング・ゾーン、ラウンジなどを配置している。

5. 学生の受入れ

・計画した入学者選抜方法に基づいて、募集、試験、選抜を行い、定員を充足する学生を受け入れている。

6. 情報の公表

・設置計画の通り、人材養成等教育研究に係る目的、教育課程、海外留学の概要、入学や学習機会に関する情報などを大学案内の冊子やホームページに掲載し、広く周知を図るよう努めている。

② 自己点検・評価報告書

自己点検・評価報告書の内容として、以下の項目に関する点検、評価、改善計画を記載している。その計画をもとに改善を図り、その上で改めて点検、評価を行い、さらなる改善を行うといったPDCAサイクルのもと、毎年、教育研究活動等点検調査委員会を中心に自己点検・評価活動を行っている。

1. 理念・目的
 - ・大学・学部の理念・目的・教育目標の適切性を定期的に検証するとともに、それらを教職員および学生に周知し、広く社会に公表する。
2. 教育研究組織
 - ・教育研究組織の適切性について、理念・目的に照らして定期的に検証する。
3. 教員・教員組織
 - ・求める教員像および教員組織の編成方針の明確性、教育課程に相応しい教員組織の整備状況、教員の募集・採用・昇格が適切に行われていること等を検証する。また、教員の資質向上を図るための方策の適切性を検証する。
4. 教育内容・方法・成果
 - ・教育目標に基づき学位授与方針および教育課程の編成・実施方針を明示し、教職員および学生に周知し、広く社会に公表する。また、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証する。
 - ・教育課程の編成・実施方針に基づき授業科目を適切に開設し教育課程を体系的に編成しているか、また、各課程に相応しい教育内容を提供しているかを検証する。
 - ・教育方法および学習指導の適切性、シラバスに基づき授業が展開されているか、成績評価と単位認定の適切性を検証する。また、教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつける。
 - ・教育目標に沿った成果が上がっているか、また、学位授与（卒業認定）は適切に行われているかを検証する。
5. 学生の受け入れ
 - ・学生の受け入れ方針を明示し、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行い、定期的に検証する。
 - ・適切な定員を設定し、入学者を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。
6. 学生支援
 - ・学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう学生支援に関する方針を明確に定め、学生への修学支援、生活支援、および進路支援が適切に行われているかを検証する。
7. 教育研究等環境
 - ・教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定め、十分な校地・校舎および施設・設備を整備し、図書館、学術情報サービスが十分に機能しているかを検証する。
 - ・教育研究等を支援する環境や条件が適切に整備されているかを検証する。
 - ・研究倫理を遵守するために必要な措置がとられているかを検証する。
8. 社会連携・社会貢献
 - ・社会との連携・協力に関する方針を定め、教育研究の成果を適切に社会へ還元しているかを検証する。
9. 管理運営・財務
 - ・大学の理念・目的の実現に向けて、管理運営方針を明確に定め、明文化された規程に基づき管理運営が行われているかを検証する。
 - ・大学業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか、また、事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているかを検証する。
 - ・教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立し、予算編成及び予算執行を適切に行っているかを検証する。
10. 内部質保証
 - ・大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか、また、内部質保証に関するシステムを整備し適切に機能させているかを検証する。

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成28年5月1日 公表

・平成18年3月に「2005自己点検・評価報告書」を、平成23年4月に「2010自己点検・評価報告書」を作成し、本学ホームページに掲載し公表した。

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

・「2010自己点検・評価報告書」の刊行及び本学ホームページにより公表した。

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- ・平成23年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の認証評価を受け、平成24年3月に適合と認定されている。次回の認証評価は平成30年度に受審する計画である。
- ・また、大学院教育学研究科教職専攻（専門職学位課程）は平成27年度に認証評価機関（一般財団法人教員養成評価機構）の教職大学院認証評価を受け、平成22年度に続き、2期目の適格認定を受けた。次回の認証評価は平成32年度に受審する計画である。

- (注) ・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (昨年までの報告書は既に公表しているが、今回の報告書については平成29年6月30日に公表予定。)